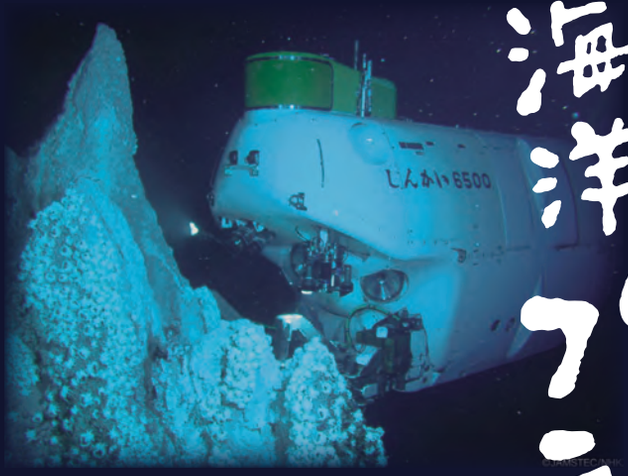
生物多様性こうち戦略推進シンポジウム

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

深海のふしぎな生きものと海洋プラスチック汚染



日時

令和２年３月１日（日）
13:00 ～ 16:00（開場 12:30）

会場

こうち男女共同参画センター
ソーレ ３階 大会議室
高知市旭町三丁目 115 番地
駐車場が狭く限りがあります。
電車・バスなどの公共交通をご利用ください。
路面電車 / 旭町三丁目下車徒歩１分
バス / 旭町三丁目下車徒歩１分
JR/ 旭駅下車徒歩５分

入場料

無料　申し込み不要

対象年齢のめやす

小学３年生以上

13:00～ 講演

深海の生きものと海洋プラスチック、そして SDGs

講師　藤倉 克則 さん
海洋研究開発機構（JAMSTEC）　地球環境部門
海洋生物環境影響研究センター長

13:50～ パネルディスカッション

海の生物多様性と私たちのくらし

パネリスト
JAMSTEC　藤倉　克則 さん
JAMSTEC　高知コア研究所　石井　俊一 さん
むろと漁師の水族館 marine＋　松尾　拓哉 さん

進行
高知生物多様性ネットワーク　岩瀬　文人 さん

15:00～ ワークショップ & 展示

『田んぼ微生物発電』
『深海生物タッチングプール』
『生物多様性 × こうち パネル展』

主催：高知県環境活動支援センターえこらぼ（高知県委託事業）
協力：海洋研究開発機構（JAMSTEC）高知コア研究所
後援：高知県教育委員会、高知市教育委員会、朝日新聞高知総局、高知新聞社、読売新聞高知支局、毎日新聞高知支局、時事通信社高知支局、共同通信社、NHK 高知放送局、RKC 高知放送、KUTV テレビ高知、KSS さんさんテレビ、KCB 高知ケーブルテレビ、エフエム高知（全て申請中）

©JAMSTEC

宇宙よりも探査が難しいと言われる深海。
その謎に包まれた深海の調査研究を行っている海洋研究開発機構（JAMSTEC）の研究者をお招きし、深海生物の生き方の工夫などを通して海の生物多様性について学ぶとともに、地球規模での汚染が懸念される海洋プラスチックごみ問題の現状と JAMSTEC での取り組みを紹介していただきます。そして、これらが全世界で向き合っている持続可能な開発目標（SDGs）にどのように関係するのかについて考えます。

講演　13:00 ～

深海の生きものと海洋プラスチック、そして SDGs

講師
藤倉 克則 さん
海洋研究開発機構（JAMSTEC）　地球環境部門
海洋生物環境影響研究センター長

パネルディスカッション　13:50 ～

海の生物多様性と私たちのくらし

パネリスト
JAMSTEC　藤倉　克則 さん
JAMSTEC　高知コア研究所　石井　俊一 さん
むろと漁師の水族館 marine＋　松尾　拓哉 さん

進行
高知生物多様性ネットワーク　岩瀬　文人 さん

ワークショップ&展示　15:00 ～

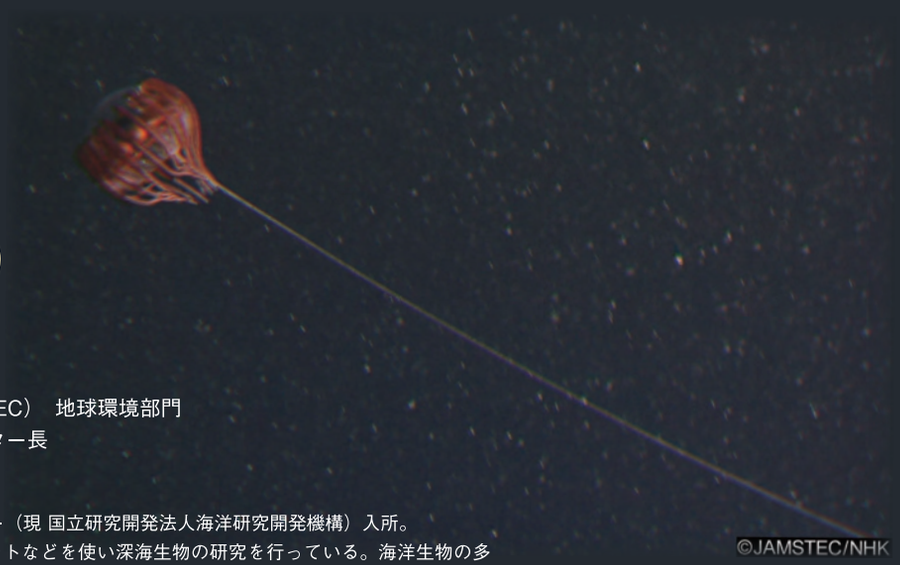
『田んぼ微生物発電』

田んぼや深海の泥に住む電気微生物（発電菌）を利用して発電する微生物電池を展示。土の中に潜む隠れた微生物の能力について紹介します。
講師　JAMSTEC 高知コア研究所　石井 俊一 さん

『深海生物タッチングプール』

室戸の海からやってきた深海生物をさわって観察してみよう！
講師　むろと漁師の水族館 marine＋　松尾 拓哉 さん

『生物多様性 × こうち パネル展』


©JAMSTEC/NHK

有人潜水調査船「しんかい 6500」で深海へ行っています！

講師　藤倉 克則さん
海洋研究開発機構（JAMSTEC）　地球環境部門
海洋生物環境影響研究センター長

講師プロフィール
1988 年　海洋科学技術センター（現 国立研究開発法人海洋研究開発機構）入所。「しんかい 6500」や深海ロボットなどを使い深海生物の研究を行っている。海洋生物の多様性の研究や国際的プロジェクトにも加わり、日本近海は世界で最も生物多様性が高いことを科学的に示した。主な著書等に、「深海 - 極限の世界 生命と地球の謎に迫る」講談社ブルーバックス、「潜水調査船が観た深海生物―深海生物研究の現在」東海大学出版会等がある。

電気を食べてメタンをつくる微生物を利用して、電気をメタンに変えて保存する研究をしています！

話題提供者　石井　俊一 さん
海洋研究開発機構（JAMSTEC）
高知コア研究所　地球微生物学研究グループ

近年、世界中で注目されている『電気微生物』（固体鉱物との細胞外電子授受によりエネルギー代謝を行う微生物）や海洋におけるプラスチック分解微生物が主な研究テーマ。微生物の持つ遺伝子を最新の遺伝子解読手法を用いて同定し、現地球上に住む多様な微生物の有用な機能を理解するべく研究を進めている。また、環境中に生息する電気微生物を用いた発電や電気を用いた物質生産などの技術開発も行っている。

室戸の漁師ならではの移動水族館などのワークショップを通して、室戸の海と自然の魅力を伝えています！

話題提供者　松尾 拓哉 さん
むろと漁師の水族館 marine＋
生物多様性こうち戦略推進リーダー

大阪出身。幼いころから室戸の海に魅せられ、室戸に「漁師の水族館」を作りたいとの夢をもち、関東、近畿の水族館で飼育員として、サメや深海生物等の生物の飼育、移動水族館等の運営に携わった後、室戸市へ移住。全国の水族館、研究機関の協力を得て全国でも珍しい深海漁などの漁業をおこない漁師を生業にしながら、新たな資源開発や身近な海の生きものをテーマにした深海生物の移動水族館、深海漁に同行できる全国でも珍しい体験漁業などの教育体験プログラムなどを実施している。

お問合せ

高知県環境活動支援センターえこらぼ（運営：NPO 法人環境の杜こうち）
〒780-0935　高知県高知市旭町三丁目 115 番地 こうち男女共同参画センター 3F
TEL：088-802-7765　FAX：088-802-2205　E-mail：center@ecolabo-kochi.jp

ecolabo-kochi.jp
えこらぼ　検索